

苫小牧市第4次環境基本計画～第1期ゼロカーボン推進計画～（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和4年12月26日 ～ 令和5年1月26日（32日間）

意見提出人数 1団体

提出意見件数 25件

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u>) <全体について> 2021年のゼロカーボンシティ宣言を受けてゼロカーボン、カーボンニュートラルについて非常に詳細に書かれているのは素晴らしいと思いますが、現在カーボンニュートラルと同様に注目されているネイチャーポジティブには全く触れられていないので、書き加えるべきと考えます	御意見を受けて、本計画P43に「ネイチャーポジティブ」に関する解説コラムを作成いたしました。	A
2	1	(原文・ <u>整理要約</u> 有・ <u>無</u>) <全体について> 苫小牧市総合計画第6次基本計画の「第4 自然と環境にやさしいまち」の「基本施策 25 自然環境の保全」「主要施策1(2)」において「美々川流域や弁天沼周辺地域などについては、自然環境保全に必要な実効性のある対策等を関係機関と連携しながら進めます」とありますので、これら自然環境の保全に向けた具体策についても何らかの記載が必要では無いかと考えます。	苫小牧市の自然環境の保全に向けた具体策については、P40に記載する生物多様性地域戦略の策定などが考えられますが、全体のページ構成のバランスや各項目内で掲載可能な文量内で調整等していることから、自然環境の保全に向けたすべての取組の具体策を記載することは難しいため御理解願います。	D

3	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■イラスト「ゼロカーボンシティ苦小牧 2050年の姿」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章 3-4「守ろう！豊かな自然とみんなのミライ」を踏まえ、生物多様性保全、生態系保全についてもイラストに表すべきと考えます。具体的には、左ページ左上の「自然の力を活かした脱炭素化」を「自然環境の保全と自然の力を活かした脱炭素化」としてはいかがでしょうか。また、ブルーカーボンを踏まえ、「自然とのふれあい植林などの保全活動」のイラストに湖沼海域等を加えて多様な環境を表すと良いと考えます。 ・再エネ促進区域の設定を踏まえ、右ページの「風力発電」「メガソーラー」を「生態系と調和した風力発電」「生態系と調和したメガソーラー」とすると良いと考えます。 	<p>御意見をを受けて、「自然環境の保全と自然の力を活かした脱炭素化」という文言へ修正いたしました。</p> <p>なお、「湖沼」については多様な環境を含めて同ページ内に絵で表現する形で掲載しております。</p> <p>また、人間社会環境と生態系を含む自然環境の双方に 配慮した再生可能エネルギーの導入を目指すことを市として示すため、「環境に配慮した〇〇」という文言へ統一して修正いたしました。</p>	A
4	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P1</p> <p>イラストの階段の中の年表は目的があって CCS の年表にされたのかと思いますが、1ページ目から突然「CCS」だと、一般の方にはよく分からないかもしれません。近くに CCS の説明や、CCS については何ページなどの記載があったほうがよいかなと感じました。</p>	<p>本計画では、地球温暖化防止に向けた多くの専門用語を使用せざるを得ないことから、P119 の「用語集」をご活用いただく構成としており、解説を都度掲載してはございませんのでご理解願います。</p> <p>しかしながら、御意見をを受けて「用語集」があることがより分かりやすくなるよう目次へ文言を追記いたしました。</p>	A
5	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P12 守ろう！豊かな自然とみんなのミライ</p> <p>①「苦小牧の多様な自然環境を守ろう」の詳細が「節電、省エネルギー、節水、エコドライブなど身近な取組がたくさんあります」となっています。これが、P11 の「広げようゼロカーボンとみんなの暮らし」①エネルギーを節約しようと、同じ内容となっています。せっかくの自然の項目なので、「市内の自然を知る」などの、自然に特化した内容の方がよいかと思えます。</p>	<p>掲載内容に誤りがあったため、御意見をを受けて「多様で豊かな自然環境を守り、自然とのふれあうきっかけを作ります。」へ文言を修正いたしました。</p>	A

6	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P16 「①エネルギーを節約しよう！」について</p> <p>カーボンニュートラルの達成には、再生可能エネルギーの導入促進と合わせて使用総量も抑えていく必要があるのはタイトルに挙げられている通りです。そこで、もう少し省エネを強調してはいかがでしょうか。たとえば「●いくら再生可能エネルギー導入を促進しても、エネルギーの使用量が増え続けてはカーボンニュートラルの達成は困難です。」など。次の●の枕になる文を追加してはいかがでしょうか。</p> <p>再エネ導入ポテンシャルは無限ではないので、省エネと合わせた再エネ導入でない限りはカーボンニュートラルの達成は困難と考えます。</p>	<p>御意見を受けて、「ゼロカーボンの達成には、エネルギー消費量を把握した上で、省エネルギー対策を徹底することが重要です」という文言を追記いたしました。</p>	A
7	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P17 地産地消でゼロカーボン</p> <p>道の駅ウトナイ湖、たるまえサンフェスティバルなどの人の集まり方を見ていると、地元の新鮮な野菜を購入したい方はとても多いと感じています。</p> <p>イラストで「地元産の食材を購入すると CO2 削減に繋がる」等のことを記載すると、普段地元の食材を購入している人が自身の行いが CO2 削減につながっていると認識していただけるかなと感じました。さらに多くの市民に地元産の野菜などを購入いただくには、購入できる場所などの案内があってもよいかもしれません。</p>	<p>ご意見を受けて、地産地消のイラスト(食事)についてイラストを追加いたしました。</p> <p>なお、全体のページ構成のバランスや各項目内で掲載可能な文量内で調整等していることから、本計画内には購入場所を案内する掲載は難しいため、別の形で案内を行うなど、今後の検討とさせていただきます。</p>	C
8	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P22 とまチョップの表について</p> <p>表3行目の事業者、市民の「学校や地域での環境教育・環境ボランティアへの協力」について、グループとしての取り組みも重要</p>	<p>御意見を受けて、「学校や地域での環境教育・環境ボランティアへの協力・仲間づくり」という文言へ修正いたしました。</p>	A

		<p>ですので、「学校や地域での環境教育・環境ボランティアへの協力・仲間づくり」としてはいかがでしょうか。</p>		
9	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P25 「■現状と課題」の3つ目の●について</p> <p>勇払原野ではタンチョウの飛来やチュウヒ、シマクイナ、アカモズの生息など希少種の生息が継続して確認されていること、特にチュウヒについては国内2番目の規模の繁殖地であることから、「ウトナイ湖や弁天沼周辺地域のような」とすると良いと考えます。第6次基本計画(P106)にも、良好な自然環境の保全で弁天沼周辺地域が挙げられていますので、記載は妥当と考えます。</p>	<p>御意見を受けて、「ゼロカーボンシティの実現に向けては、再生可能エネルギーのさらなる導入が求められる一方で、ウトナイ湖や弁天沼周辺地域など豊かな自然が存在するため、導入するには十分な配慮が必要です。」という文言へ修正いたしました。</p>	A
10	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 28 ①エネルギーの地産地消を進めよう！について</p> <p>表2行目の再エネおよび再エネ設備導入促進に加え、省エネを進めることも記載してはいかがでしょうか。</p>	<p>省エネにつきましては、「3-1 広げよう！ゼロカーボンとみんなの暮らし」で全体的に記載しております。</p> <p>①エネルギーの地産地消を進めよう！につきましては、市内でつくられたエネルギーを市内で活用することについて示しており、省エネに関連する内容の記載がそぐわないため、ご理解願いたいと思います。</p>	D
11	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P31～34 目指そう資源が循環するゼロごみのまち</p> <p>P31 の「ゼロごみ大作戦」の文字だけだと、何をしているのかが分かり辛いかと思います。どこかにゼロごみ大作戦の詳細、イベントの写真などがあると、市民が参加したいと思うかもしれません。苫小牧市ならではの活動なのでもっとアピールされた方がよいかと思います。</p>	<p>御意見を受けて、本計画P37(追加ページ)へ「053大作戦」に関する解説コラムを作成いたしました。</p>	A

1 2	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P36 きれいな街を目指そう</p> <p>「大掃除に参加」に加えて、個人でできる「日常生活でのゴミ拾い、ボランティア活動」なども加えてはいかがでしょうか？また、ここで苫小牧市のボランティア袋の紹介があると、近くの公園や、河川敷、海岸などでゴミ拾いをしてくださる方も増えるかもしれません。</p>	<p>御意見をを受けて、本計画P38(追加ページ)へ「ボランティア袋」に関する解説コラムを作成いたしました。</p> <p>また、「日常生活でのゴミ拾い、ボランティア活動」についても本コラムへ記述を追記いたしました。</p>	A
1 3	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P37 「■現状と課題」のひとつ目の●について</p> <p>ウトナイ湖がラムサール条約に登録されていることは広く誇れる事実ですので、「野鳥の楽園となっているウトナイ湖」を「野鳥の楽園となっているラムサール条約湿地・ウトナイ湖」としてはいかがでしょうか。環境基本計画内に、ラムサール条約という単語は2回程度しか出てきていないように思われましたが、もっとアピールできるものと思います。</p> <p>また、勇払原野もウトナイ湖同様に重要な地域ですので、書き加えると良いと思います。ここでは「野鳥の楽園となっているラムサール条約湿地・ウトナイ湖や勇払原野があり」とすると良いと考えます。</p>	<p>御意見をを受けて、「本市は、まちのシンボルである樽前山や、野鳥の楽園であるラムサール条約登録湿地のウトナイ湖や勇払原野などの豊かな自然に囲まれています。」という文言へ修正いたしました。</p>	A
1 4	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P38</p> <p>表の中に「野生生物の保護」が記載されているので、下記のとまチョップが、虫取りしているイラストが少し気になります。昆虫を捕るのではなく、観察している(眺めている)図などの方が良いような気がします。</p>	<p>御意見をを受けて、生物を観察しているとまチョップのイラストへ変更いたしました。</p>	A

15	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 39 教えて！ゼロカーボンまめ知識について ひとつ目の・について</p> <p>一般の方向けに説明の単純化は必要ですが、生物多様性の説明があまりにも簡略なので、「多様な生き物が、遺伝的な多様性を維持して、多様な環境(生態系)の中でつながり合っていること」などもう少し詳しくするべきと考えます。</p> <p>また、ゼロカーボンに関係する生物多様性の危機として、気候変動など地球環境の変化による危機(第四の危機)があることを紹介すると良いと思います。</p> <p>ふたつ目の・について</p> <p>ここでは生態系サービスを紹介していますが、ホッキ貝やハスカップのような食物もあげるべきと考えます。具体的には「生態系サービスとして、私たち人間にも多くの利益をもたらしてくれます。(ホッキ貝やハスカップなどの食べ物の提供、資源や水の提供、災害を未然に防ぐ機能など)」としてはいかがでしょうか。</p> <p>「苫小牧市の多様な自然環境」について</p> <p>苫小牧市総合計画第6次基本計画(P108)を受ける形で、ウトナイ湖の紹介の後に、「美々川や弁天沼周辺地域のような野生動物等々の生息・生育地として貴重な自然環境の保全を進めることにしています。」と記載してはいかがでしょうか。</p>	<p>御意見を受けて、生物多様性の説明について「多様な生き物が、遺伝的な多様性を維持して、多様な環境(生態系)の中でつながり合っていること」と記述を修正いたしました。</p> <p>次に、地球環境の変化による危機について、「地球温暖化による気候変動は、日本の生物多様性が失われる 4つの危機のうちの一つです。」と記述を修正いたしました。</p> <p>次に、生態系サービスについて、「生物多様性は、生態系サービスとして、私たち人間にも多くの利益をもたらしてくれます。(ホッキ貝やハスカップなどの食べ物の提供、資源や水の提供、災害を未然に防ぐ機能など)」と記述を修正いたしました。</p> <p>最後に、苫小牧市の多様な自然環境について、「また、美々川や弁天沼周辺地域のような、野生動物などの生息・生育地として貴重な自然環境の保全を進めています。」と記述を追記いたしました。</p>	A
16	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 40 ①苫小牧の多様な自然環境を守ろう！ について</p> <p>現在議論が進んでいる TNFD を踏まえ、表の5行目で事業者の実施内容に「自らの事業と生物多様性の関わりを見直す」と追記してはいかがでしょうか。市民の実施内容では、観察会や学習会に参加することに加え、「自然環境保全ボランティアへの参加」を加えてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見を受けて、「事業活動での生物多様性への関わりの見直し、自然生体系への配慮」と記述を修正いたしました。</p> <p>また、「自然環境保全ボランティアへの参加」の記述を追記いたしました。</p>	A

17	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P40 表の中の「市民」の欄について 「ウトナイ湖湖岸清掃活動」と記載があります。ウトナイ湖の各センターでは、このようなイベントは行なっていないのですが、苫小牧市として実施されている活動でしょうか？もし、イベントとして行っていないのであれば「個人でできるゴミ拾い活動」などとし、海岸、ウトナイ湖、河川敷などと記載してもよいかなと思います。あわせて、ボランティア袋の解説もあるといいかもしれません。</p>	<p>御意見を受けて、「自然環境保護活動への参加や個人でできるゴミ拾い活動(海岸、ウトナイ湖、河川敷など)」と記述を修正いたしました。</p> <p>また、ボランティア袋については項目No.12のとおり、最も関連する内容に合わせて、コラムを追加で作成しております。このため、P40 では解説を行いませんので御理解願います。</p>	A
18	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 41 ②まちのみどりを守ろう！ について 表の3行目の事業者の取り組みについて、世界的に議論が進む OECM の流れを踏まえ、自社の森林保全をより一般化されたものとして行うと良いと考えます。そこで、自社の森林保全に加え、次の行として「社有林や社有地を活用した自然共生サイト(仮称)への参画」と追記してはいかがでしょうか。</p>	<p>自然共生サイト(仮称)について、国が 2022 年に始めたばかりの取り組みであり、現段階では項目No.1で記載した「ネイチャーポジティブ」のコラム内での紹介に留めますのでご理解願います。</p>	A
19	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P41 表の中の「事業者・市民」の「関係法令の遵守」は、一般の方には分からないと思うので、どのような法令があるのかを知っていただけるように「〇〇を守る」などの記載の方が良いかもしれません。</p>	<p>御意見を受けて、「関係法令の遵守」の対象を事業者のみへ修正いたしました。また、市民が取り組む項目として「私有林の適正な管理」「山火事の予防」の記述を追記いたしました。</p>	A

20	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 44 3-5 達成目標の指標 について</p> <p>「守ろう！豊かな自然とみんなのミライ」の「苫小牧の多様な自然環境を守ろう！」の指標について、現在の各事業への参加者数に加え、「保護地域面積」や「ラムサール条約登録湿地数」のような自然環境そのものについての指標も加えるべきと考えます。</p> <p>また「まちの緑を守ろう！」について、単に森林施業面積とはせず、「OECM(自然共生サイト)面積」など管理計画策定や事後調査も含めた施業が行われる面積も把握しておくべきと考えます。</p>	<p>本計画は市民に分かりやすい計画を念頭にしており、目標値についても同様の考えで設定しております。</p> <p>このため、基本施策「まちの緑を守ろう！」について、市が主体となつて行う事業に関連する目標値は、森林施業面積が最も明快な数字となることから設定させていただいておりますのでご理解願います。</p> <p>なお、「保護地域面積」の指標設定や「OECM(自然共生サイト)面積」の把握については、生物多様性国家戦略が示された後に市で策定を予定している生物多様性地域戦略において考え方や対象地について検討してまいります。</p> <p>このため、現段階では「苫小牧の多様な自然環境を守ろう！」の指標についても 各事業への参加者数から変更は行いませんのでご理解願います。</p>	C
21	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 51 ①2050年の脱炭素社会の実現イメージ について</p> <p>7つ目の●「自然の力を活かした脱炭素化が進んでいます」について、3つ目の項目として「原生的森林を残し炭素の貯留を維持する」を加えてはいかがでしょうか。</p>	<p>御意見を受けて、「苫小牧市特有の気候及び地形から形成された原生的な森林の保全に配慮した施業を推進しています」という記述を追記いたしました。</p>	A
22	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P 56 ②2030年の目標達成に向けた施策 について</p> <p>(ア)エネルギーの地産地消について、地産地消に加えて適切な導入が重要ですので、「(ア)エネルギーの地産地消と環境に配慮した適切な導入」とするべきと考えます。ここでの環境とは、人間社会環境と自然環境の双方を含みます。</p>	<p>小題につきましては、P28 の内容と連動する構成としていることから、変更は難しいため御理解願います。</p> <p>しかしながら、御意見を受けて P56 へ「太陽光発電など、再生可能エネルギーの導入にあたっては、環境に配慮しながら、地域マイクログリッド等による電力の地産地消に向けて取り組みます。」と文言を修正いたしました。</p>	A

			また、P28 へ「再生可能エネルギーの導入にあたっては、環境に配慮し適切な導入を目指します。」という文言を追記いたしました。	
2 3	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P57 教えて！ゼロカーボンまめ知識 について</p> <p>上から2番目のイラストの「環境や景観保全」に「生物多様性の保全」を加えると良いと思います。また、目次前に合わせ、イラスト中の風力発電、メガソーラーを「生態系と調和した風力発電」「生態系と調和したメガソーラー」とすると良いと考えます。</p>	<p>御意見を受けて、「生物多様性の保全」という記述を P57 のイラストと見開きページのイラストへ記載いたしました。</p> <p>また、項目No.3 の回答のとおり、人間社会環境と生態系を含む自然環境の双方に配慮した再生可能エネルギーの導入を目指すことを市として示すため、「環境に配慮した〇〇」という文言へ統一して修正いたしました。</p>	A
2 4	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■4-8 地域脱炭素化促進区域の設定に向けて について</p> <p>「(2)再エネ導入と景観との調和をはかるための条例等の制定に向けて」に、保全区域設定に際して「希少な動植物の生育や渡り鳥に関する情報が得られた場合は」とありますが、本基本計画に書かれている通り苫小牧市内には貴重な自然環境が多く存在するので、情報を積極的、能動的に取得していく姿勢が重要と考えます。</p> <p>そこで、「希少な動植物の生育や渡り鳥に関する情報を収集・取得し、生態環境に影響を及ぼす区域を保全区域と」していくべきと考えます。</p> <p>「(3)地域脱炭素化促進区域の設定に向けて」には、「国の促進区域設定に係る環境省令や、北海道の基準を踏まえ、自然保護区その他の考慮すべき区域を除外」とありますが、苫小牧市内には貴重な自然環境が広く存在することから、国や県の基準にとらわれず市として重要な場所は除外していくべきと考えます。</p> <p>そこで、「国の促進区域設定に係る環境省令や、北海道の基準を踏まえ、市独自の視点を加味して自然保護区その他の市として考慮すべき区域を除外」するとはいかがでしょうか。</p>	<p>現在、再エネ導入と景観との調和をはかるための条例等の制定に向けて、苫小牧市再生可能エネルギーゾーニング検討業務において、生態環境を含めた情報の収集を委託事業者と共に実施しております。</p> <p>御意見のとおり、苫小牧市内には貴重な自然環境が多く存在している為、常に情報を収集する事は必要であると認識しています。結果として、人間社会環境と自然環境の双方に最大限配慮する事を前提とした、条例等の制定が実施できるよう取組を進めてまいります。</p> <p>その為、「希少な動植物の生育や渡り鳥に関する情報に基づき、生態環境に影響を及ぼす区域を保全区域とすることを検討します。」という記述へ修正いたしました。</p> <p>また、「国の促進区域設定に係る環境省令や、北海道の基準を踏まえ、自然保護区やその他市として考慮すべき区域を除外」という記述へ修正いたしました。</p>	A

25	1	<p>(原文・整理要約 有・無)</p> <p>■P110 ページ下段の「ガンやカモ類、ハクチョウ」の表記ですが、カモだけ類がついているので「ガン類、カモ類、ハクチョウ類」などに統一した方が良くと思います。</p> <p>その後の「マガンやハクチョウ」も「マガンやオオハクチョウ等(いずれも種名)」もしくは「ガン類やハクチョウ類」に統一した方が良くと思います。</p> <p>※ウトナイ湖で渡りの時期に多く飛来するガン類はマガンやヒシクイ、ハクチョウ類はオオハクチョウ、コハクチョウです。</p>	<p>御意見を受けて、「特にガン類、カモ類、ハクチョウ類などの渡り鳥にとっては重要な中継地であり、マガンやヒシクイ、オオハクチョウやコハクチョウ(いずれも種名)の集団渡来地として国際的に知られています。」と記述を修正いたしました。</p>	A
----	---	---	---	---

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。